令和5年度　12月実施　生徒による授業評価の分析と改善方針（1学年）

令和６年１月11日　　学習支援グループ

	集計結果による分析	改善方針
国語	〈現代の国語・言語文化〉 全ての項目で肯定的な意見が増え、否定的な意見が減った。	〈現代の国語・言語文化〉 7月の改善でもあった「学習への取り組み」の項目が今回も課題となっている。引き続き、授業の内容を振り返りつつ考えをまとめる活動や、問題集による演習など様々な学習活動を通して生徒を支援していきたい。
社会	〈地理総合〉 全ての項目で「4」「3」を回答する生徒が多い。スライドが見えにくいというコメントが1学期から続いている。 〈公共〉 多くの項目で、「かなり当てはまる」「ほぼ当てはまる」が9割以上を超える高い評価となった。	〈地理総合〉 スライドが見えにくいというコメントが1学期から続いている。2学期に入った時点でフォントや画像の大きさを変えるなどしてきた。それでも、見えにくいという意見が出ているため、板書の工夫をしていきたい。 〈公共〉 項目6が9割をやや切る数値となったため、自らの考えを深める活動を取り入れるなど工夫をしていきたい。
数学	〈数学Ⅰ〉 全ての項目で「4」「3」を回答する生徒が大半をしめているが，2学期の内容に入り数学の苦手の生徒が多くなった。その結果「2」「1」を回答する生徒が2，3割と増えてしまったと考えられる。	〈数学Ⅰ〉 2学期では成績不良者が多くなったことから授業課題や個別補習など多くの支援をし、改善に向けていく。また授業展開の工夫や板書の工夫などを行い，生徒の学習意欲の向上に努める。
理科	＜化学基礎＞ すべての項目で、ほとんどの生徒が4か3を回答しており、おおむね満足しているように見える。	＜化学基礎＞ 2学期は計算を中心とする授業展開だったので、1学期よりも難易度が高く感じる生徒が多かったと思う。計算に関してはプリントを中心とした反復練習に満足感を示すコメントが多かったため、今後も計算についてはプリントを活用していきたい。
体育	＜体育＞ 2学期になり、各自が選ぶ選択別の球技を中心とした授業を実施した。生徒各自が自分の好きな種目を選んで行う授業のためか、それぞれが自主的・意欲的に運動に関わり、とてもよい雰囲気で行われた。	＜体育＞ 特に問題はないが、3学期ではマラソン大会練習がメインとなるため、体調管理やけがの防止などにより努めて指導していきたい。
保健	＜保健＞ 全ての項目でほとんどの生徒が4か3を回答している。8割の生徒が4を回答しており、ほとんどの生徒が満足をしてくれている。	＜保健＞ 短い時間や課題ごとでも振り返る時間を確保たり、教員側からも生徒の活動について的確にフィードバックしていきたい。また時間内に難しい場合は、クラスルームなども活用し、振り返り等を行っていきたい。
美術	＜美術Ⅰ＞ ほとんどの項目で「とても当てはまる」、「だいたい当てはまる」が80％以上であった。2学期は自分で考えて取り組む課題が主の内容でしたが、提出状況などは良く、全体的には良い取り組みであったと感じたが、指導方法として直接指導の必要があると感じた。	＜美術Ⅰ＞ 3学期も時間をかけた課題となるので、生徒の個性を十分に発揮できるように、教材研究を徹底したい。毎回、授業での到達目標を設定して、進度の差がでないようにしていきたい。
音楽	＜音楽I＞ 前任者と変わり、生徒自身に戸惑いがあったようです。そのような状況で概ね良好であった。	＜音楽Ⅰ＞ 生徒一人一人が書いた意見を真摯に受け止め、今後の授業に役立てていきたい。授業前と終わりに、ねらいと振り返る時間を設けることについてですが、短時間で済むような方法を考えていきたい。
英語	＜コミュニケーション英語Ⅰ＞ ほとんどの項目が「とてもよく当てはまる」「だいたい当てはまる」、回答結果であった。 ＜論理・表現I＞ ほとんどの項目が「とてもよく当てはまる」「だいたい当てはまる」、回答結果であった。	＜コミュニケーション英語Ⅰ＞ 学習の関心を深め動機を持たせる工夫が必要であると考える。一対一で教えるとよく理解できるが大勢になると授業に集中していない傾向がある。ペアワークを用いる方法も一定の効果があるが、ペアワークを苦痛と思っている生徒もいる。授業の進め方も含め工夫していきたい。更に英語で考え英語で答える機会を増やしたい。 ＜論理・表現Ⅰ＞ プレゼンテーションの機会を複数設けているが、自信を持って堂々と発表できる生徒がまだ少ない。ALTとも協力しながら、引き続き発表の機会を設け、成功体験を積ませることで自信をつけさせたい。また、学習した文法事項を活用し、自分の身近なことについて表現できるよう工夫していきたい。
家庭	＜家庭科＞ すべての項目で「かなり／ほぼあてはまる」の回答がほとんどであった。肯定的回答が9割以上を占めた。	＜家庭科＞ 7月の改善方針を踏まえて板書時間や作業時間などを充実させた為、12月で同様の内容について肯定的な感想になった。今後も継続していきたい。実生活から考えるような授業の中で、「身に付いた」「できるようになった」と感じる生徒が多くみられたので、今後も実生活に結びつくような内容を考えていき、生徒の学習に対する満足度をあげていきたい。
情報	＜情報Ⅰ＞ すべての項目で、1学期に比べ回答内容は改善している。多くの回答が「とてもよくあてはまる」「だいたい当てはまる」の回答となっている。	＜情報Ⅰ＞ 1学期は、情報セキュリティを中心に授業を展開しており、座学が中心の内容となっている。高校生活に必要な内容であるための結果と分析していた。今学期はプログラミング中心の授業のため、実習を中心とした結果と分析している。来学期についても今学期同様の実習中心の内容であるが、より生徒の興味関心を高めるように授業改善を進めていく。
未来探究	＜未来探究＞ ほとんどの項目が「とてもよく当てはまる」「だいたい当てはまる」、回答結果であった。	＜未来探究＞ 今後も、大々的に発表する機会を増やし、生徒にとって実りある探究活動を行っていきたい。

令和5年度　12月実施　生徒による授業評価の分析と改善方針（2学年）

	集計結果による分析	改善方針
国語	〈論理国語・文学国語・古典探究〉 全て項目で肯定的な意見が多かった。 ＜国語表現＞ 全ての項目で肯定的な意見が多かった。	〈論理国語・文学国語・古典探究〉 7月の改善と同様、各授業の中で教材研究の段階から様々な資料の活用や単元に関わるイメージなどを意識しながら、指導に努めていきたい。 ＜国語表現＞ 絵や写真を見て配置や形、情景を説明する文章に取り組んだ。言葉だけで伝えることは難しいが、発想力と達成感を味わいながら「書く」ことを楽しませたい。
社会	＜歴史総合＞ すべての項目で「とてもよく当てはまる」「だいたい当てはまる」が大多数を占めていた。 ＜公共＞ すべての項目で高い評価を得られた。	＜歴史総合＞ 高い評価を得られていたが、自由記述では「進度が早い」という意見もあったため、生徒がより集中できるようICTの活用等をしていきたい。 ＜公共＞ 生徒は発表課題も一生懸命取り組んでいたので、次学期も生徒が意欲的に授業参加できるような授業形態で実施したい。
数学	＜数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学B＞ 全ての項目において、評価3または4となっており、授業に対する満足度は高いと考えられる。 ＜数学A＞ すべての項目で「とても当てはまる」、「だいたい当てはまる」という回答が多かった。	＜数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学B＞ 授業に対する満足度は高いが、基礎学力の向上が課題である。今後も意欲を高める授業を工夫し、自ら考える力を養いたい。 ＜数学A＞ この科目は得手、不得手の差が極端な科目である。読解力を高めることと基礎学力の向上に向けた工夫が必要である。
理科	＜生物基礎＞ 全ての項目で良好な評価を得た。 〈物理基礎〉 すべての項目で、95%以上の生徒から良好な評価を得た。	＜生物基礎＞ 図やイラストなど視覚情報の活用が好評だったため、今後も継続していきたい。 また、「なぜ」「どのように」といった興味を持たせて、思考力を高めていく工夫が必要である。 ＜物理基礎＞ 文系・理系を問わず生活に密接に関連した内容であるため、生徒の主体的・対話的な活動を促進していきたい。
体育	＜スポーツⅡ、スポーツⅥ＞ スポーツ系クラスの授業であり、どの科目でも一生懸命に取り組む姿勢がみられ、積極的に活動に取り組んでいる。全体的な満足度は非常に高かった。 ＜体育＞ すべての項目において高い評価を得られることができた。	＜スポーツⅡ、スポーツⅥ＞ 将来のスポーツ活動に役立つ知識や技能の習得に役立つ教材の精選や指導を心がける事が必要である。専門性を高めレベルの高い授業を展開したい。 ＜体育＞ 「あまり当てはまらない」と答えた生徒も少なからずいるため、すべての生徒から高い評価を得られるように授業改善に努めたい。
保健	＜保健＞ すべての項目において高い評価を得られることができた。	＜保健＞ 高い評価を得られていたので、今後も生徒にとって身近な問題を取り上げ、主体的に考察させる授業を展開していたい。
美術	＜美術Ⅱ＞ ほとんどの項目で「とても当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答している生徒が90%であった。真剣に課題に取り組む生徒も多いが、集中力に欠け、最後まで根気強く取り組めないことがある。	＜美術Ⅱ＞ 3学期も引き続き同じ課題に取り組んで完成させるので、制作工程（プロセス）が非常に重要になってくる為、理解が深められるようにプリントや教材見本など工夫して取り組みたい。充実して制作活動ができるように教材の準備を徹底したい。
音楽	＜音楽Ⅱ＞ 年度途中で前任者と変わり、生徒側にも戸惑いがあった。しかし順応性が高いのか、授業には積極的に参加し、評価は概ね良好であった。	＜音楽Ⅱ＞ 毎時間の授業内容、ねらい、目標などを明確にし、生徒自身が学び、理解できた達成感を味わうことができる内容、指導法を引き続き研究していきたい。
英語	＜英語コミュニケーションⅡ＞ 全ての項目で「とても当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答している生徒が90%以上であった。 ＜論理・表現Ⅱ＞ 全ての項目で「とても当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答している生徒が90%以上だったので、満足度は高かったのではないかと思う。	＜英語コミュニケーションⅡ＞ 扱う内容や単語が難しくなってきているので、引き続き丁寧に復習をしたりアクティビティ等を活用したりして、基礎的な知識を定着させていきたい。 ＜論理・表現Ⅱ＞ 昨年度に比べ、文法事項よりも言語活動（英語での対話やパフォーマンステスト等）を増やした。英語のやりとりに達成感を味わえることができたという声もある反面、文法をもっとやりたいという声も少数意見であったので、今後に向けていろいろ試していきたい。
家庭	＜フードデザイン＞ すべての項目で「かなり／ほぼあてはまる」の回答がほとんどであった。	＜フードデザイン＞ 1・2学期は、まず座学にて学びを深めてから実習に入っているため、調理実習回数は多くはない中、このような回答を得られた。今後は更に実習回数も増える計画を立てており、専門的な学びの中で実習を通し、生徒の学習に対する満足度をあげていきたい。
未来探究	＜未来探究＞ ほとんどの項目が「とてもよく当てはまる」「だいたい当てはまる」、回答結果であった。	＜未来探究＞ 今後も、大々的に発表する機会を増やし、生徒にとって実りある探究活動を行っていきたい。

令和5年度　12月実施　生徒による授業評価の分析と改善方針（3学年）

	集計結果による分析	改善方針
国語	〈精選現代文・理系現代文〉 全ての項目で「4」の回答が極めて多かった。 〈古典精読〉 すべての項目において肯定的回答（「十分ありました／十分できました」「少しありました／少しできました」）が9割以上を占めた。 〈国語探究〉 いずれの講座においても、肯定的回答が多数を占めた。 〈古典研究〉 全ての項目で肯定的な回答が多くあった。	〈精選現代文・理系現代文〉 7月のアンケート解答と同様、満足度が高く、かつ生徒自身もしっかり取り組んでいる一方、やはり学力としてなかなか定着していかない面がある為、3学期は学力の定着を図りたい。 〈古典精読〉 2学期においては、授業の中で「身に付いた」「できるようになった」と感じる生徒が減ったという結果が出た。これは、取り扱う題材の難易度が高くなり、授業進度も早くなったことによると思われる。卒業までの授業数は僅かであるが、生徒の進路を念頭に置きながら授業展開の工夫を行っていきたい。 〈古典研究〉 7月の改善事項に挙げた積極的な取り組みについては、今学期改善が見られた一方、学習内容の定着に課題が残る為、3学期は指導方法などに留意しながら改善に努めたい。 〈国語探究〉 3学期においても、伝統的な言語文化に親しませながら、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識・技能を高められるように努める。
社会	＜政治・経済＞ 例年に比べ「わかりにくい」という回答が多くなったようだ。 ＜日本史B＞ すべての項目において高い評価を得ることができた。 ＜新聞講読＞ 「とても当てはまる」という回答が多く、否定的な意見も少なかった。 〈世界史B〉 全ての項目で、「かなり当てはまる」「ほぼ当てはまる」が8割以上を超える高い評価となった。 ＜世界史A＞ すべての項目で「とても当てはまる」の項目が9割をとっており、高い評価となっている。	＜政治・経済＞ 抽象的な内容が多く、理解しづらい面もあるが、できるだけ具体的に噛み砕いた説明で授業を展開すべきと考える。 ＜日本史B＞ 2学期は授業数も多く、日が経つにつれて生徒の集中力も低下したように感じる。3学期は日本史の知識だけでなく、日本史を学ぶ意義や教養としての日本史を講義していきたい。 ＜新聞講読＞ 「授業が楽しい」という意見がある一方で、休み時間とのメリハリがつけれていない。発言の多さは継続しつつ、メリハリをつけれるようにしていきたい。 〈世界史B〉 項目5などが他項目との比較の上でやや低いため、協働的な活動を増やすなど工夫していきたい。 ＜世界史A＞ 「項目６」「項目７」の割合がほかの項目と比べて若干低いため、すべての項目でより高い評価を得られるように授業改善をしていく。
数学	〈数学Ⅲ〉 すべての項目で「4」を回答している。 〈数学探究B〉 すべての項目で「4」を解答している。 〈数学B〉 すべての項目で「４」「３」を回答している。 〈数学探究A〉 全ての項目で良好な評価を得た。 〈数学探究C〉 全ての項目で良好な評価を得た。	〈数学Ⅲ〉 引き続き、生徒主体でわかりやすい授業を展開していきたい。 〈数学探究B〉 引き続き、生徒主体でわかりやすい授業を展開していきたい。 〈数学B〉 取組みの良い生徒たちであるので、プリントの工夫をして学習意欲の向上に努める 〈数学探究A〉 まだ授業のレベルを下げないと結果はついてこないようなので、授業のレベルを下げていきたい。 〈数学探究C〉 まだ授業のレベルを下げないと結果はついてこないようなので、授業のレベルを下げていきたい。
理科	＜発展化学＞ すべての項目で「とてもよく当てはまる」という回答結果であった。 ＜化学・化学探究＞ ほぼ全ての生徒が概ね満足しているという結果であった。 ＜生物・生物探究＞ 全ての項目で良好な評価を得た。 ＜地学基礎＞ どの項目でも「ほぼ当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答しているが、満足度が高いと回答が少なかった。 ＜物理・物理探究、発展生物＞ すべての項目で「かなり/ほぼ当てはまる」の回答を得た。	＜発展化学＞ 今後もこの結果を維持するために、化学実験をしたり、発表活動をするなどして、工夫を凝らして授業を展開していきたい。 ＜化学・化学探究＞ 理論化学を学習したので、1学期よりも格段に難易度が高かったと思う。早い授業展開で非常に多くのことを取り扱ったが、それでも生徒は必死についてきてかつ満足感が高かったことが伺える。楽に計算する工夫、理論を他と関連づけて覚える箇所を減らす工夫、少人数で顔が見えるので生徒が理解できるまで拾ってあげられるところ、生徒間で話しやすい環境が、生徒にとって取り組みやすい、良かったところだと思う。今後も、生徒が意欲を失わず、授業についてこられるような授業展開をしていきたい。 ＜生物・生物探究＞ 実験を行ったり、探究活動を行ったりしたことで他者の考えに触れ、主体的に考える習慣がついたと考える。今後はより科学的に思考できるよう工夫し、思考力を高めていきたい。 ＜地学基礎＞ これを受け、授業の充実感や満足感を高めるように意見交換など全体に共有できるよう工夫をしていきたい。 ＜物理・物理探究、発展生物＞ こまめな声かけを通じた生徒の学習意欲向上を心がけ、今後もこの結果を維持していきたい。
体育	〈体育〉 ほぼすべての項目で良い評価が出ている。 〈スポーツⅡ、スポーツ指導法Ⅱ〉 ほぼすべての項目で良い評価が出ている。 どの項目でも「とても当てはまる」と回答している生徒の割合が半分を超えている。1学期と同様、選択種目を行っていることで、自分が興味のある種目を取り組めていることから前回と今回の結果につながっていると考えられる。	〈体育〉 今後も安全面に考慮し、生徒の主体性が伸びるように継続して指導していく。 〈スポーツⅡ、スポーツ指導法Ⅱ〉 今後も、生徒の能力・資質に応じた内容の授業を展開していく。また、安全面の配慮をしっかりと続けていくことを徹底する。
美術	＜美術Ⅲ＞ すべての項目で「とても当てはまる」、「だいたい当てはまる」が90%以上であった。満足度の高い評価となっている。真剣に課題に取り組む生徒もいる一方で根気強く取り組めないことがある。概ね良い結果ではあったが、課題については進め方をしっかり組み立てて最後まで根気強く取り組めるようにする必要があると感じた。	＜美術Ⅲ＞ さらに積極的に授業に臨めるよう、作品制作の為の資料収集や鑑賞方法、素材研究などについても指導していきたい。そして、生徒が興味を持って制作活動ができるように教材の準備を徹底する。
音楽	＜ピアノ演奏＞ 前任者と変わり、生徒自身戸惑いがあったようですが、概ね良好な回答結果であった。	＜ピアノ演奏＞ 実技科目で、個々の技術的な差は大きいが、人数が少ないので、それぞれにあった指導を今後も続けていきたいと思います。
英語	＜コミュニケーション英語Ⅲ＞ ほとんどの項目が「とてもよく当てはまる」「だいたい当てはまる」、回答結果であった。 ＜発展英語B＞ ほぼ全ての項目で「とても当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答している生徒が90%以上であった。少し難しい内容やディベートなどを扱ったからか、項目4で「とても当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答している生徒が80%にとどまった。	＜発展英語B＞ ディベートなど難易度の高いものを取り入れたが、ALTを活用しスモールステップで少しずつ進めていくことで、楽しく取り組む様子が見えた。 ＜発展英語B＞ 少人数で行う授業であるが、学習意欲がない生徒は消極的な姿勢で授業を受けており、集中ができていない。生徒に英語で話すことを中心にした授業でより関心が深まる授業の工夫を行っていきたい。英語での発表は生徒が積極的な意欲を示すので更に深めていきたい。ALTの活用も更に工夫をしていきたい。 ＜コミュニケーション英語Ⅲ＞ 学習の取り組みの向上を考え説明の分かり易さに関して授業の進め方も含め工夫していきたい。英語で考え英語で答える機会を増やしたい。
家庭	＜子どもの発達と保育＞ 3名のみの受講であるが、自選「子どもの発達と保育」において、ほぼすべての項目で100%の「かなり/ほぼ当てはまる」回答を得ている。年6回実施した保育園実習にむけた授業内容を中心に授業展開をしているため、生徒にとって主体的かつ実践的な学びがあり、得られた回答と思われる。	＜子どもの発達と保育＞ 来年度にむけて授業展開・計画をもって、さらなる授業充実をはかっていきたい。
未来探究	どの項目も9割5分は超え、特に「取組の意欲」は前回よりもやや高くなっている。これは2学期に学年全体や山北町に向けての発表があり、今までの取り組みの成果を発表する機会があり、意欲があがったのではないかと考えている。	